



「浦和のさかえに 歴史をほこる」開校152年目の挑戦

大いちょう

令和 4年 6月 1日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 令和4年度 No. 3 048 (829) 2737

「いいのかな いったんストップ 心の声」

(令和3年度さいたま市人権標語優秀作品・高砂小 塩崎風優さんの作品)

校長 永山 誉

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の取組もすでに3年目になりました。このような状況の中、5月17～18日には、6年生が日光への修学旅行、5月27～29日には、5年生がたかつえ自然の教室（今年度は、館岩少年自然の家が改修工事のため、会津高原たかつえにて実施）など、大きな行事を実施してまいりました。特に宿泊を伴う行事につきましては、いわゆるコロナ禍にあって、特に子どもたちの健康と安全を第一に実施することが求められ、保護者の皆様には、実施に向けての様々な準備や健康管理等への御協力、誠にありがとうございました。お陰様で、大きな成果をあげて帰校することができました。

さて、新年度がスタートして2か月が過ぎました。年度当初の4月というのは、子どもたちにとって新しいクラスや友達との出会いが中心となり、比較的緊張した中で1か月が過ぎていきます。しかし、5月の連休明けから6月にかけては、子どもたちの関係もこれまでと違った形で変化し、些細なことから関係が崩れることがあります。この時期は、こういったことから子どもたちが内面にストレス抱え込みやすく、学校生活に適應できないという問題が発生しやすい時期であり、特に6月は、いじめの認知件数が増加してくる時期とも言われています。そのような時期にあって、さいたま市では、全市的に6月を「いじめ撲滅強化月間」とし、各校においてそれぞれの学校の実態に応じた取組を実施しています。本校では、「さいたま市立高砂小学校いじめ防止基本方針」（全文はホームページで公開中）に基づき、次のような取組を行います。

- ・「いじめ撲滅」啓発用ポスターを活用した、いじめ撲滅に向けた学級スローガンづくり
- ・児童会による、いじめ撲滅を目指したキャンペーンの展開
- ・校長によるいじめ撲滅に関する講話（6月の講話朝会にて実施）
- ・「児童生徒の心のサポート 手引き いじめに係る対応」を活用した、いじめの未然防止に向けた学級担任等による指導
- ・「簡易アンケート」等の実施による対応

ちょっとした一言が相手を傷つけたり、逆にちょっとした一言が相手を優しく包んでくれたり……。巻頭の人権標語にあるように、その一言を言う前に、いったん立ち止まり、自分の心の声を聞けるような子どもたちに育ってほしいと思います。心の声に従い、子どもたちの関係も、優しさが優しさを包み、優しさに包まれた関係が築かれるといいものです。



高砂小学校のコミュニティ・スクール制度スタート！

5月25日に本年度最初の学校運営協議会を開催し、いよいよ高砂小学校のコミュニティ・スクール制度がスタートしました。コミュニティ・スクールは、これまでの「地域に開かれた学校」から一歩踏み出し、地域と一体となって子どもたちをはぐくむ「地域とともにある学校」への転換を図るものです。学校運営協議会の詳細につきましては、今後ホームページに掲載いたしますので、どうぞ御覧ください。ホームページ掲載に関しましては、学校だより7月号にてお知らせいたします。